

A 視点^{してん}の置き方^{おきかた}

◆ 相対的^{そうたいてき}に考えて、心理的^{かんが}に話者^{しんりてき}に近い方^{わしや}に視点^{ちか}を置きま^{ほう}す。

わたし > いとこ > うちの社の田中社長 > A社の山中氏 > … > …

例 ○ うちの田中社長はA社の山中氏に販売ルートを紹介してもらった。

(「うちの田中社長」の方が「A社の山中氏」より心理的に話者に近い。)

× A社の山中氏はうちの田中社長に販売ルートを紹介してあげた。

B 「～てあげる・～てもらう・～てくれる」を使うときの注意^{つか}

◆ 恩恵^{おんけい}の感情^{かんじょう}を入れないで中立的^いに言いたいときには、「～てあげる・～てもらう・～てくれる」は使^{ちゅうりつてき}いませ^いん。

仕事上^{しごとじょう}のサービス行為^{こうい}にも「～てあげる」は使^{つか}いませ^んん。また、相手^{あいて}のため^ににする行為^{こうい}にも「～てあげる」を多用^{たよう}すると恩着せがましくなります。

例 × この市にスポーツセンターを建設する際、県からも補助金を出してもらった。

○ この市にスポーツセンターを建設する際、県からも補助金が出された。

× 本日に限り、店内の商品を10%割引してさしあげます。

○ 本日に限り、店内の商品を10%割引いたします。

◆ 「～てもらう」と「～てもらえる」は「行為か・状態か」で使い分けます。

～てもらう 他者^{たしや}にある行為^{こうい}を頼み^{たの}、話者^{わしや}がその恩恵^{おんけい}を受^うける

例・店員に頼んで、ビールを届けてもらった。

～てもらえる 話者^{わしや}が他者^{たしや}の行為^{こうい}の恩恵^{おんけい}を受けられる状態^{じょうたい}にある = 「～てくれる」

(「他者に頼む」という意味がなくなる。)

例・あの店は何時でもビールを届けてもらえる。

・あの店は何時でもビールを届けてくれる。

◆ 「～てもらう・～てくれる」の発展的^{はってんてき}な使^{つか}い方^{かた}には次のようなものがあります。

～てもらう a) 許可^{きよか}を求めるとき(～させてもらう)

例・わたしにも意見を言わせてもらいます。

・ここにちょっと荷物を置かせていただきますね。



b) 他者^{たしや}の行為^{こうい}についての希望^{きぼう}・指示^{しじ}を示^{しめ}すとき

例・総理大臣にはもっと責任感を持ってもらいたい。

・貸した金は必ず返してもらわなければならない。

c) 他者^{たしや}の行為^{こうい}が迷惑^{めいわく}だと言^いいたいとき

例・今さらやめるなんて言ってもらっては困る。

・勝手にわたしの引き出しを開けてもらいたくない。

～てくれる

a) 直接自分^{ちよくせつ}に対する行為^{じぶん}でなくとも、話者^{わしや}が「快^{がい}」と感じたとき

例・客^{きやく}が早々と帰ってくれた。

・やっと雨があがってくれた。

b) 他者^{たしや}の行為^{こうい}の影響^{えいぎょう}が自分^{じぶん}に及び、迷惑^{めいわく}だと感じたとき

例・うちの息子が恥ずかしいことをやってくれて、わたしは世間^{かおむ}に顔向けできない。

・まったくとんでもないことをしてくれたものだと思う。

練習1 適当なものを選びなさい。

- 1 市民文化祭は大成功^{だいせいこう}だった。隣の市の人たちも手伝って(a あげた b もらった c くれた)。
- 2 混雑した電車の中で偶然高校時代の友人に会った。少し熱があるとのことでつらそうだった。しかし、だれも気がつかず、席を譲^{ゆず}って(a あげなかった b もらわなかった c くれなかった)。
- 3 図書館から借りた本は期日^{きじつ}までには必ず(a 返してあげなければ b 返してもらわなければ c 返さなければ)いけません。
- 4 昨日重役会議があった。会社側^{しやうぎやういん}は従業員の給料を(a アップしよう b アップしてあげよう c アップしてもらおう)ということになった。
- 5 人がいなくても自動で庭の掃除をして(a あげる b もらう c くれる)掃除ロボットがほしい。
- 6 駅前で新しくできたコーヒーショップのちらしを配っていた。そのちらしを持っていけば20%割引^{わりびき}して(a あげる b もらう c もらえる)ようだ。



- 7 患者さん本人によく説明し、この病気の原因や治療法をよくわかって(a あげた b もらった c くれた)上で、今後の治療方針を決めていきたい。
- 8 その仕事は川田さんならやれる。川田さんに頼めばきっとやって(a あげるだろう b もらうだろう c くれるだろう)。
- 9 津波の怖さを知って(a あげるために b もらうために c もらえるために)、自分の体験談を話すつもりだ。
- 10 山中さんが怒るのももっともだけど、高橋君の気持ちも(a わかってあげてほしい b わかってもらってほしい c わかってくれてほしい)。

練習2 「あげる・もらう・くれる」を適当な形にして、 _____ の上に書きなさい。

- 1 会場の係員に場内を案内して ① _____ とのことだったので、車いすのままイベント会場に入った。わたしを案内して ② _____ たのは、田中さんという若い女性で、彼女は場内で迷っているお年寄りたちにも優しく声をかけて ③ _____ いた。
- 2 自分をしかって ① _____ 人がいるということは実はありがたいことだ。わたしのような年齢になってしまうと、もうだれにもしかって ② _____ なる。逆に、わたしはとても気が弱いので、褒めて ③ _____ ことはやっているが、人をしかることなんて怖くてとてもできない。
- 3 「これ、もらって ① _____ とありがたいんだけど……。」と言って、わたしによく服を譲って ② _____ 友人がいる。彼女がもう着ない服だ。自分が要らない服を人にもらって ③ _____ のは、意外に難しい。二人がとても親しくて、服の好み合っている場合に限る。
- 4 自分がしたことでだれかが喜んで ① _____ ……。人生においてこれに勝る喜びはないと思う。言い換えれば、義務としてではなく、だれかに喜んで ② _____ ためにある行為をするということは、この上なく幸せなことではないだろうか。わたしは人のために何かを「してあげる」のではなく、何か「させて ③ _____ 」という気持ちを忘れたくないと思っている。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、**1** から **5** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

ある日わが家にどっさり **1**。わたしにこの花々を **2** 友人には実はまだお目にかかったことがない。今度1週間に1日だけシフトに入ることになった新しい職場の方。彼女も出勤は木曜日だけのことだから、同じ職場といっても顔合わせのときに会うぐらいで、これからは会う機会はあまり期待できない。メールで自己紹介し合って、すっかり意気投合した。彼女の親しみやすい人柄とユーモアにほのぼのしたものを感じて、初顔合わせを楽しみにしていたところ、ある晩メールが届いた。

「今日、仕事を抜け出して観光花畑に参りました。本当にきれいでした。この美しさをぜひ田中さんにも **3** と思いました。明日、春の花の香りがお宅に **4**。」

メールを読んで「あしたはいいことがあるんだ」と、その日わたしはなんとなく心がはずんだ。翌日花が届けられてもう一度さらに楽しむことができた。プレゼントを二つ頂いたような気分だ。わたしはすぐに **5**。

「わたしは何よりも花が好きです。春の花畑を思い浮かべています。春はもうすぐそこまで来ているのですね。」

1

- 1 花を贈った
- 2 花が贈られてきた
- 3 花が贈られていった
- 4 花を贈ってもらった

2

- 1 送った
- 2 送ってもらった
- 3 送ってあげた
- 4 送ってくれた

3

- 1 楽しんでいただきたい
- 2 楽しんでさしあげたい
- 3 楽しんでください
- 4 楽しませてあげたい

4

- 1 届けてもらいます
- 2 届けてあげます
- 3 届きます
- 4 届いてあげます

5

- 1 返信した
- 2 返信された
- 3 返信していただいた
- 4 返信してさしあげた